

グリーティング

友人のお嬢さんの結婚が決まり、仲間うちでささやかなお祝いの食事をしました。お相手の仕事の関係で入籍後、2人はすぐにシアトルというあわただしさです。「ところで、いつ出発なの?」「四月四日」です。皆、一瞬いやな気持ちになりました。四がふたつ重なっているのです。「考えようだと思ふんです。志合わせ、四月四日は2人の志が合う日なんです。出発の日、志合わせな人生のスタートの日なんです。」明るく話すご本人に、この人ならこれから先何があっても大丈夫と、一同うれしく、頼もしく思ったことでした。



S.K

技工情報

～より良い義歯製作をめざして～

義歯重合編「パラジェットシステム導入」

この度、アイディシーではヘレウスクルツァー社から販売され、精密重合システムとして世界屈指の精度を誇る「パラジェットシステム」を導入する事になりましたのでご紹介させていただきます。

近年の患者様の歯科補綴治療への要求度は高くなり、それに伴い技術開発も進んだことにより、使用する材料の精密さや生体親和性への要望も高まっています。

義歯床用レジンにおいても同様であり、正確な咬合構築を回復するにあたり義歯粘膜面への適合精度・長時間口腔内にて広範囲にわたり粘膜と触れているものである為に生体親和性が強く求められている様に感じております。

【生体親和性に優れた重合レジン】

パラジェットシステムは、世界で初めてポリメチルメタクリレートを基とする加熱重合レジンを開発したクルツァー社が、70年以上の経験・知識・技術を応用し改善を重ねた常温重合レジン（パラエクスプレス・パラプレスバリオ）を用いたシステムです。

一般的に心配される常温重合レジンの変色・残留モノマーは、モノマー中に含まれる3級アミンという重合促進剤が原因でした。

パラプレスシリーズのレジンにおいては、耐着色性の向上・重合精度を上げる為にバルビツール酸を重合促進剤とする事で解決し色調安定性・生体親和性に優れています。



【熱収縮と変形の少ない精密システム】

専用のフラスコを使用し、4気圧のエアプレスによりレジンをつラスコ基底部から注入後、重合釜に45℃・55℃と段階的に2気圧下の状態にて重合をさせます。

加熱重合レジン（100℃での加熱重合・65℃での低温長時間重合）と比較すると、重合収縮・重合加熱温度から室温へと冷却されるまでの熱収縮と変形が、4気圧でのプレスと重合時のレジン内部温度の違いから大きく変わります。

この度導入しました「パラジェットシステム」は、その優れた材料・術式から高精度・高性能な義歯製作を可能とし、患者様の要望にお応えする事を可能にする精密重合システムです。

ぜひ、義歯の吸着・面着・接着が必要とされる患者様の義歯に。

※パラジェットシステムでの義歯製作方法・技工料金等は、IDC義歯課に御相談下さい。

